

平成29年度 地域貢献学術研究助成金 採択事業一覧

(単位:円)

No.	大学等名	事業名	申請額
1	宮崎大学農学部 准教授 山崎 渉	高病原性を含む鳥インフルエンザウイルス等の超高感度濃縮検出システムの開発と環境調査への応用	2,000,000
	<p><提案概要></p> <p>○高病原性鳥インフルエンザの早期摘発・封じ込みを図るため、ウイルスの超高感度濃縮検出システムを開発する。 ・由来の異なる多数のウイルスにより超高感度濃縮検出システムの濃縮効果を評価し、濃縮前後のウイルスによりシステムの感染力価への影響を評価する。さらに、野鳥の糞便から高病原性を含むウイルスの環境動態を調査する。 ○同システムの口蹄疫や豚流行性下痢への応用を図る。</p>		
2	宮崎大学国際連携センター 准教授 伊藤 健一	高度外国人材就業のための日本語・キャリア教育と地域産業人材の国際化に関する研究	1,800,000
	<p><提案概要></p> <p>○高度外国人材の就業・定着と地域産業人材の国際化を図るためのプログラム構築を行い、高度人材の集積を図る。 ・高度外国人材や留学生等を対象とした、短期的なビジネス日本語学習 ・日本文化理解を深め宮崎の産業界で働くための基礎知識を学ぶ、インターンシップを含む実践的・体感的なキャリア教育 ・受入側企業と連携し、外国人材の文化背景等を共に学び、理解深化を図る、地域産業人材の国際化プログラム</p>		
3	宮崎大学地域資源創成学部 准教授 根岸 裕孝	学生参画によるコミュニティビジネスを通じた地域課題の解決に関する研究	1,500,000
	<p><提案概要></p> <p>○コミュニティビジネスの手法による地域課題の解決に向けた可能性の検討及び実現可能性の検証を行う。 ・地域理解実習を通じ、一定程度現状を把握している地区等市内3地区を対象に、総合支所や地域センターと連携し、地域のニーズを踏まえたテーマ設定を行う。 ・地域まちづくり推進委員会等の住民組織や民間企業、行政との連携を意識して、課題解決に向けた実験的な取組を行う。 ・事業の成果をもとに、学生が提案するコミュニティビジネスの他地域への波及可能性を検討する。</p>		
4	南九州大学健康栄養学部 准教授 渡邊 純子	宮崎市域の中学生のための親参加型ライフスタイル教育プログラム実施に向けたベースライン調査	1,380,000
	<p><提案概要></p> <p>○市民に対し、食事・生活習慣改善の機会提供を図るため、親が参加する型のライフスタイル教育プログラムの開発に向けたベースライン調査を行う。 ・中学生に記名自記式の調査を行い、調査結果から中学生の食事・生活習慣と健康との相関関係を検討し、教育現場のカリキュラムに有用であり、保護者の行動変容を促す介入内容となる教育スキームの設定とプログラムの内容検討を行う。 ○中学生が作る宮崎野菜メニューコンテストを開催し、中学生及び保護者をはじめ、広く野菜摂取の重要性とその方法を再認識できる機会を提供する。</p>		
5	宮崎大学地域資源創成学部 教授 桑野 斉	木花地域における持続可能な公共交通のあり方に関する調査研究	1,500,000
	<p><提案概要></p> <p>○木花地区における地域住民の公共交通に対するニーズや意識・意向等を把握し、課題を整理し、持続可能な公共交通のあり方を検討する。 ・コミュニティバス運行後10年が経過し、地域の交通需要が大きく変化していることから、アンケートやヒアリング調査により地域住民のニーズの把握を行う。 ・住民代表で組織する地域公共交通検討委員会と連携し、持続可能な公共交通のあり方の検討を行う。</p>		
6	宮崎大学語学教育センター 教授 藤井 久美子	宮崎だからできる！観光と食から創(う)まれる台湾誘客プロジェクト	1,800,000
	<p><提案概要></p> <p>○外国人に訴求する地域資源を分析、発掘し、宮崎市の認知度の向上や個人観光客増加につなげる。 ・個人旅行客の需要喚起・リピーターの獲得を図るため、台湾人学生による少人数観光ツアーの企画コンテストを行い、台湾人に訴求する地域資源を分析する。 ・台湾人に好まれる食の商品開発・販路拡大につなげるため、特産品の試食・審査による食のコンテストを実施する。</p>		
7	南九州大学大学院 教授 陳 蘭庄	宮崎市の伝統野菜「日向カボチャ」を新時代に合うブランドにするための育種学のおよび園芸利用学的研究	1,970,000
	<p><提案概要></p> <p>○「日向カボチャ」を、マンゴーやきんかんと並ぶ新生宮崎ブランドとするため、遺伝的に安定した系統を作り出し、品種登録を目指す。 ・育種学的手法を取り入れた同時着果による収量増 ・交配実験によって得られた優良系統を用い、園芸利用学的手法を取り入れた形質や糖度の改善 ・形態調査による優良系統果実の特性評価による、伝統的な形の保持の追求</p>		